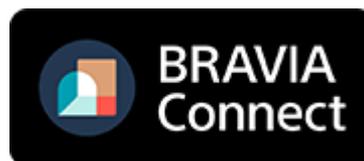


ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad



型式 : YY2080C

スマートフォンにアプリをインストールして、アプリの案内にしたがって本機のセットアップをしましょう



すべての機能と改善された性能をご活用いただくために、本機のソフトウェアや“Sony | BRAVIA Connect”アプリは最新のバージョンをお使いください。

HT-A9M2

本機の使いかた／各部の名称

[本機を使うために必要なアプリについて](#)

[本機とつながる機器](#)

[ヘルプガイドの説明について](#)

各部の名称

[コントロールボックス](#)

[スピーカー](#)

[付属リモコン](#)

[アプリのリモコン画面](#)

初期設定をする

本機を設置する

[コントロールボックスとスピーカーを設置する](#)

[スピーカーをテレビ台や棚に設置する](#)

[スピーカーを壁に取り付ける](#)

テレビとつなぐ

[テレビにS-センタースピーカー入力端子がある場合は](#)

[AV機器をつなぐ](#)

[電源につなぐ](#)

[“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする](#)

[スピーカーが正しくつながらないときは](#)

音楽／音声を再生する

テレビの音声を聞く

[本機につないだAV機器を再生する](#)

[音質を調整する](#)

BLUETOOTH®機能で音楽／音声を聞く

[BLUETOOTH機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)

[機器登録（ペアリング）済みのBLUETOOTH機器の音楽を聞く](#)

[無線機能のオン／オフを設定する](#)

360 Reality Audioを楽しむ

[360 Reality Audioについて](#)

[本機につないだAV機器で360 Reality Audioコンテンツを聞く](#)

ネットワークで音楽を楽しむ

[Spotifyを使う](#)

[AirPlayを使う](#)

テレビと連携して使う

[テレビと本機を連携して操作する（HDMI機器制御機能）](#)

[“ブラビアリンク”対応テレビと本機を連携して操作する](#)

アプリから本機の設定を変更する

[\[ワイヤレススピーカー設定\]](#)

[\[サウンド設定\]](#)

[\[HDMI設定\]](#)

[\[Bluetooth設定\]](#)

[\[本体設定\]](#)

[\[通信設定\]](#)

[\[かんたん初期設定\]](#)

[\[ソフトウェアアップデート\]](#)

[スタンバイ時の消費電力を抑える](#)

困ったときは

[困ったときにすること](#)

[初期化する](#)

その他

[主な仕様](#)

[対応する音声フォーマット](#)

[対応するHDMI映像フォーマット](#)

[商標について](#)

[ライセンスについて](#)

[ご注意](#)

[サポートページで調べる](#)

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

本機を使うために必要なアプリについて

本機の初期設定、操作や詳細設定には“Sony | BRAVIA Connect”アプリをインストールしたスマートフォンを使用します。

スマートフォンに“Sony | BRAVIA Connect”をインストールしてください。



本機を使用するには、インターネット環境が必要です。

本機を使う際は、アプリをインストールしたスマートフォンと本機を同じネットワークにつないでください。

アプリを使うと、以下のような操作や設定を行うことができます。

- ネットワーク接続、サラウンドの最適化など本機の初期設定をする
- 本機の音量調節や入力切り換えなどの操作をする
- 本機の設定をお好みのものに変更する
- 付属のスピーカーや別売のサブウーファーと接続し初期設定をする
- 本機のソフトウェアを最新にアップデートする
- サポート情報や最新のアップデート情報を見る

付属リモコンではコンテンツ視聴時によく使用する操作や設定のみ行うことができます。

ご注意

- アプリを使用するには、アカウントやサインインが必要になります。
- アプリまたは本機を30日以上使わないと、アプリから機器の再登録が必要になる場合があります。

関連項目

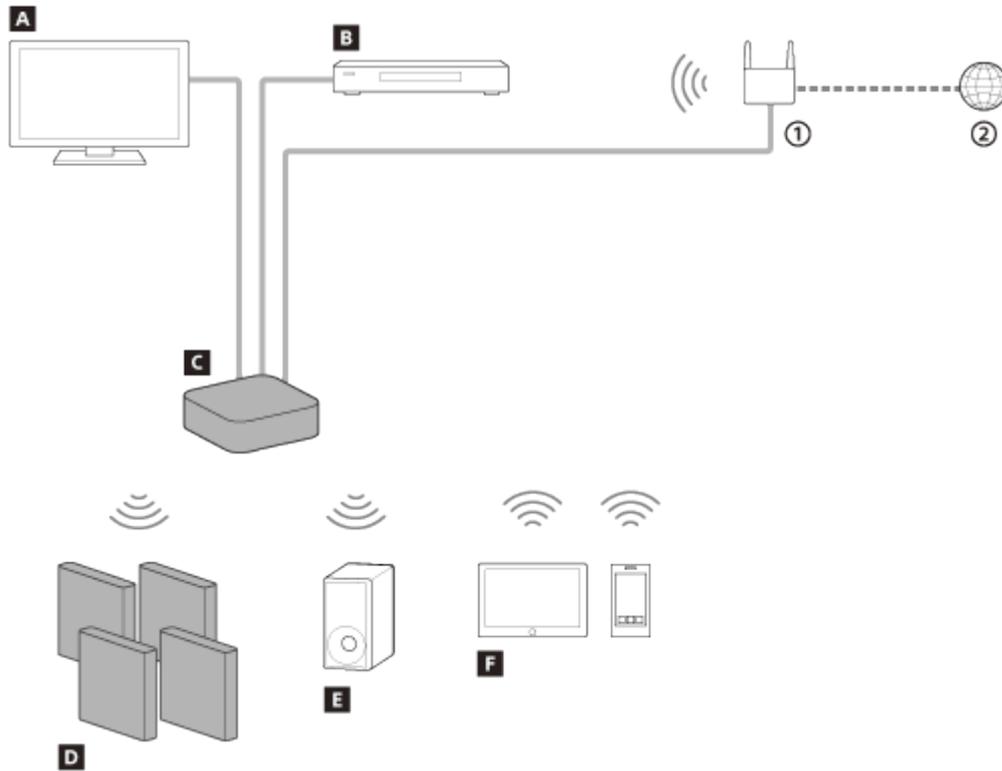
- [付属リモコン](#)
- [アプリのリモコン画面](#)

TP1001051459

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

本機とつながる機器

本機はDolby Atmos、DTS:Xなどのオブジェクトオーディオフォーマットに対応しています。



- ① 無線LANルーター
- ② インターネット

A テレビ

コントロールボックスとテレビをHDMIケーブルでつなぐと、本機でテレビの音声を再生することができます。
[テレビの音声を聞く](#)

B AV機器 (ブルーレイディスク™レコーダー、ケーブルテレビ (CATV) ボックス/衛星放送チューナー、またはゲーム機など)

コントロールボックスとAV機器をHDMIケーブルでつなぐと、本機でAV機器の音声を再生することができます。テレビにつないだAV機器の音声を本機で再生することもできます。
[本機につないだAV機器を再生する](#)

C コントロールボックス

テレビやAV機器をつないで、ワイヤレスでつないだスピーカーで音声を楽しむことができます。

D 付属スピーカー

コントロールボックスとワイヤレスでつながり、本機の音声を再生します。

E 別売サブウーファー

別売のサブウーファーはアプリを使って本機との接続や設定ができます。
本機に対応している別売のサブウーファーは、ソニーのホームページでご確認ください。

F モバイル機器

本機とモバイル機器をBLUETOOTH機能でつなぐと、本機でモバイル機器の音楽を再生することができます。

また、モバイル機器を本機と同じネットワークにつなぐと、本機で音楽をストリーミング再生できます。
[BLUETOOTH機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)

TP1001053986

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

ヘルプガイドの説明について

操作の説明について

このヘルプガイドでは、下記を前提として操作を説明しています。

- 本機と“Sony | BRAVIA Connect”アプリの両方が最新バージョンのソフトウェアである
- 本機とeARCまたはARC対応のテレビをHDMIケーブルでつないでいる、かつ、本機とテレビのHDMI機器制御機能が有効になっている
- “Sony | BRAVIA Connect”アプリの画面にしたがって、本機とテレビ(*)のセットアップを完了している
 - * アプリに対応したブラビアをお使いの場合は、本機とブラビアの両方をアプリのリモコン画面で操作できます。それ以外のテレビをお使いの場合は、本機のみをアプリのリモコン画面で操作できます。

アプリに表示される文言について

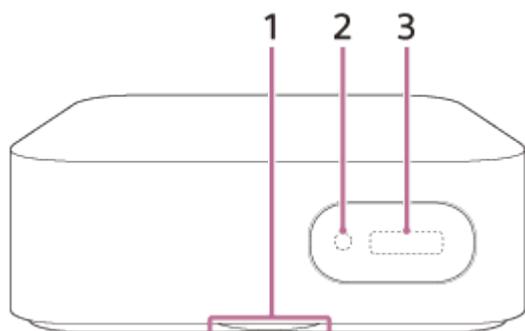
- [] (カッコ) 中の文字は“Sony | BRAVIA Connect”アプリの画面に表示される文言であることを表しています。

TP1001669175

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

コントロールボックス

正面



1. ステータスランプ

本機の状態を表示します。

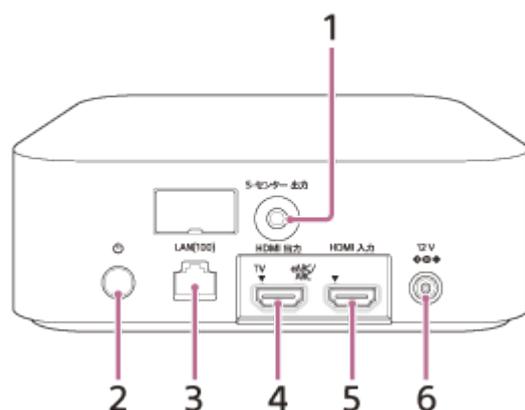
- 青色で点滅：機器登録中です。
- 白色でゆっくり点滅：初期設定が完了していない、もしくはネットワークに接続されていません。
- 消灯：初期設定済み、かつネットワークに接続されています。

2. リモコン受光部

付属リモコンをコントロールボックスの受光部に向けて操作してください。

3. 表示窓

背面



1. S-センター出力端子

2. 電源 (電源)

本機の電源を入れます。本機の電源が入っているときに押すと、本機がスタンバイ状態になります。10秒以上長押しすると、コントロールボックスを初期化します。

3. LAN (100) 端子

4. HDMI出力 (TV eARC/ARC) 端子

HDMI入力端子のあるテレビをHDMIケーブルでつなぎます。本機はeARCおよびARCに対応しています。ARCとはHDMIケーブルを通して、テレビの音声をテレビのHDMI端子から本機などのAV機器に送る機能です。eARCはこの

ARCを拡張したもので、ARCでは伝送できなかったオブジェクトオーディオやマルチチャンネルLPCMの伝送が可能になります。

5. HDMI入力端子

6. DC入力端子

関連項目

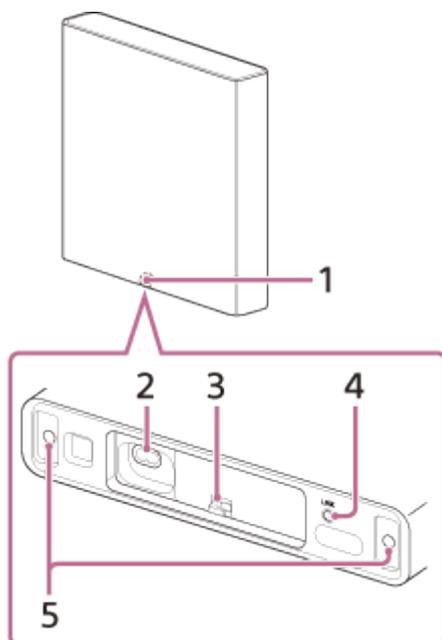
- [テレビとつなぐ](#)
- [テレビにS-センタースピーカー入力端子がある場合は](#)
- [AV機器をつなぐ](#)
- [電源につなぐ](#)
- [初期化する](#)

TP1001051443

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

スピーカー

正面



1. 電源ランプ

コントロールボックスとスピーカーの接続状態や、スピーカーの電源の状態を表示します。

- 緑色
 - 点灯：コントロールボックスと接続されています。
 - ゆっくり点滅：コントロールボックスとの接続待ち状態です。
 - 2回ずつ点滅：LINK（リンク）を押してコントロールボックスとの接続待ち状態です。アプリの案内にしたがって操作してください。
- 赤色
 - 点灯：ネットワークスタンバイ状態（*）です。
* コントロールボックスとの接続を維持し、コントロールボックスと連動して起動する状態です。
- アンバー色
 - 点滅／点灯：ソフトウェアアップデート中
- 消灯
 - 電源オフ状態です。

2. AC入力端子

3. ケーブルホルダー

4. LINK（リンク）

スピーカーの電源がオンのとき

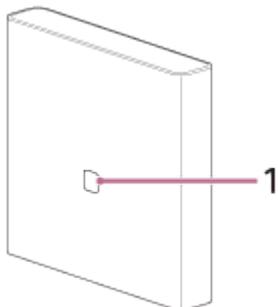
- 押す：“Sony | BRAVIA Connect”アプリでコントロールボックスとスピーカーが正しくつながらない場合に操作します。アプリの案内にしたがって操作してください。
- 2秒長押しする：スピーカーの電源を切ります。
- 10秒以上長押しする：スピーカーを初期化します。

スピーカーの電源がオフのとき

- 押す：スピーカーの電源を入れます。

5. スピーカー固定用穴

背面



1. 壁掛けフック取り付け用穴／市販スピーカースタンド取り付け用穴

ご注意

- 取り付け用穴はカバーを外してお使いください。取り付け用穴のカバーとカバー内のネジは、スピーカーを壁やスタンドから外したときに使えるように保存しておいてください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。

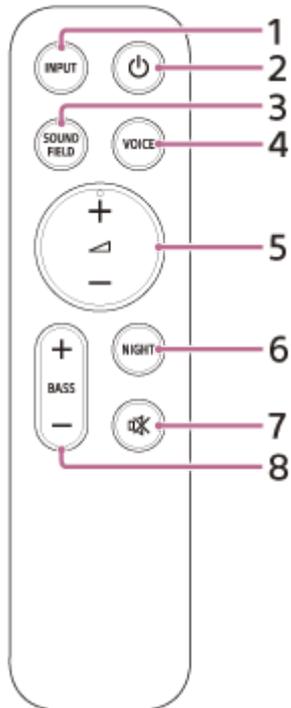
関連項目

- [電源につなぐ](#)
- [初期化する](#)

TP1001051445

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

付属リモコン



1. INPUT (入力切換)

本機で再生する入力を選びます。

ボタンを押すと、現在選ばれている入力が表示されます。もう一度ボタンを押して、入力を選びます。押すたびに入力が切り換わります。

2. ㊤ (電源)

本機の電源入/スタンバイを切り換えます。

3. SOUND FIELD (サウンドフィールド)

本機のサラウンド効果をオン/オフします。

4. VOICE (ボイスモード)

本機のボイスモードをオン/オフします。

本機との連携機能に対応しているソニー製テレビをつないでいる場合、本機の入力をテレビにすると、ボイスモードの代わりにボイスズームをオン/オフします。

5. ▲ (音量) + (*) / -

本機の音量を調節します。

6. NIGHT (ナイトモード)

本機のナイトモードをオン/オフします。

7. ㊤ (消音)

本機の音を一時的に消します。

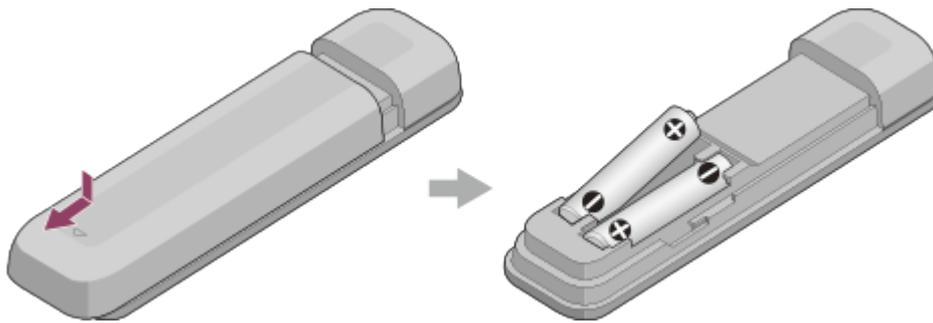
8. BASS (低音レベル) + / -

低音 (または別売のサブウーファー) の音量を調節します。

* ▲ (音量) +には、凸点 (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。

電池交換について

付属リモコンを操作しても本機が反応しないときは、電池を2つとも新しいものに取り換えてください。単4形マンガン乾電池またはアルカリ乾電池をお使いください。



リモコンが正しく動作しないときは

- リモコンをコントロールボックスのリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンとコントロールボックスとの間の障害物を取り除いてください。
- 電池の+と-が正しい向きで入っているか確認してください。
- 電池が古い場合は、すべての電池を新しいものに取り換えてください。
- リモコンの正しいボタンを押しているか確認してください。

関連項目

- [音質を調整する](#)

TP1001051446

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

アプリのリモコン画面

アプリのリモコン画面には、次の2種類があります。

本機のみ操作できるリモコン画面

アプリに対応していないテレビをHDMIケーブルでつないでいる場合に表示されます。

本機とブラビアを操作できるリモコン画面

アプリに対応しているブラビアをHDMIケーブルでつないでいる場合に表示されます。

本機を操作できる下記の項目が [リモコン] [画質と音質] [音声出力] [設定] に振り分けられて表示されます。ただし、テレビの電源が入っていない場合は、本機のみを操作できるリモコン画面が表示されます。

アプリのリモコン画面の項目

● 再生情報表示/入力切替エリア

画面上部に選択中の入力などが表示されます。タップすると以下の情報や操作が表示されます。

- 再生メタ情報：再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名、曲の長さなど
- Stream Info：入力信号の周波数など
- 音声フォーマット：入力信号の音声フォーマット（Dolby Atmos、DTSなど）やチャンネル数など
- 本機につないでいるBLUETOOTH機器名
- BLUETOOTH機器の再生操作
- 入力切替（*）

* アプリに対応したテレビを本機とHDMIケーブルでつないでいる場合は、テレビの入力も選ぶことができます。

● [(電源)]

本機の電源が入っているときにタップすると、本機がスタンバイ状態になります。

● [ナイトモード]

本機のナイトモードをオン/オフします。

● [サウンドフィールド]

本機のサラウンド効果をオン/オフします。

● [ボイスモード]

本機のボイスモードをオン/オフします。

● [ボイスズーム]

本機との連携機能に対応しているソニー製テレビをつないでいると有効になる機能です。本機の入力をテレビにすると、ボイスモードの代わりにボイスズームが働きます。

● [音量]

本機の音量を調節します。

● [リアレベル]

リアスピーカーの音量を調節します。

● [低音レベル]

低音（または別売のサブウーファー）の音量を調節します。

● [音声切替]

本機に二重音声（デュアルモノラル）信号が入力されているときに、聞きたい音声を選ぶことができます。

ご注意

- 本機は二重音声（デュアルモノラル）の切り換えに対応しています。ステレオ二重音声（デュアルステレオ）など、二重音声以外の音声多重放送の切り換えを行う場合は、テレビなどデジタルチューナー搭載機器側で音声信号を切り換えてください。詳しくはデジタルチューナー搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

● 【視聴位置】

視聴している位置に合わせてサウンドフィールドを最適化できます。初期設定、もしくは【サウンドフィールド最適化】（*）で視聴位置の測定精度が低い場合は使用できません。

* アプリのリモコン画面で【設定】→【サウンド設定】→【サウンドフィールド最適化】をタップして表示します。

● 【設定】

本機の設定をします。

ご注意

- 反応が悪いときは、スマートフォンと本機のWi-Fi接続状況を確認してください。

関連項目

- [音質を調整する](#)

TP1001669176

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

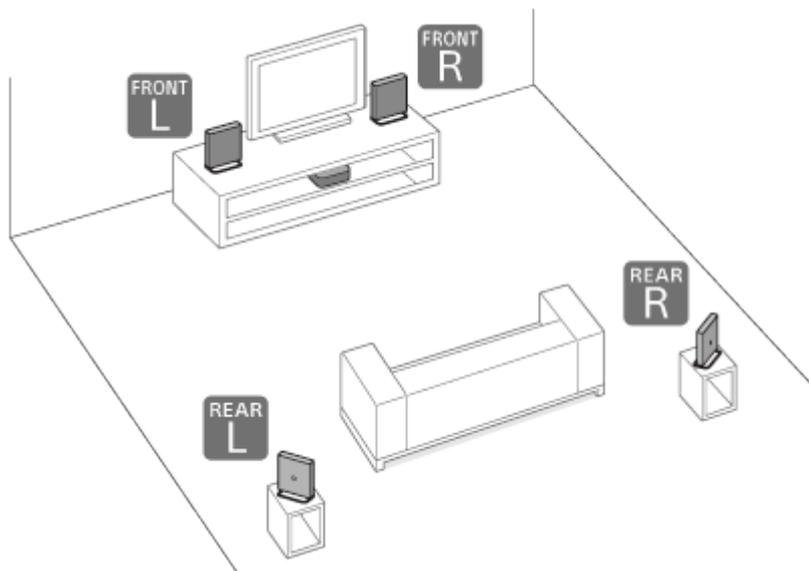
ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

コントロールボックスとスピーカーを設置する

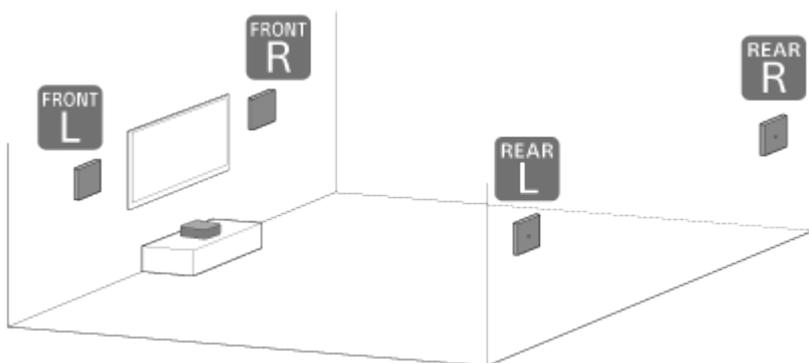
1 コントロールボックスとスピーカーの設置のしかたを選ぶ。

テレビ台や棚などに設置する、または壁に取り付けることができます。

テレビ台や棚に設置する例：



壁に取り付ける例：

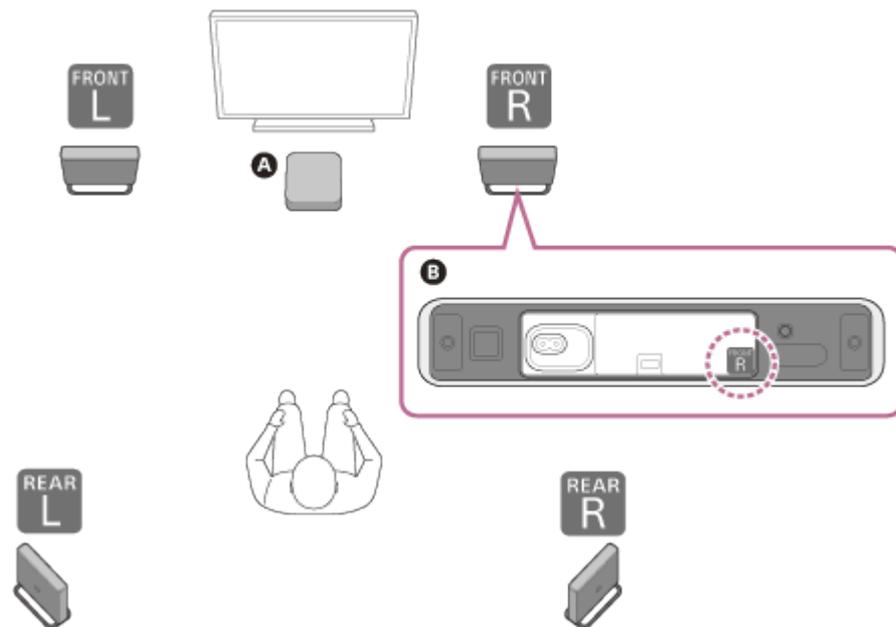


ご注意



- スピーカーを棚の中や天井の直下に設置しないでください。スピーカーの天面から出力される音の妨げになります。
- 本機の近くに金属物を置かないでください。無線機能が不安定になる場合があります。

2 設置場所を決める。



1. 表示窓が隠れない棚の中または棚の上などにコントロールボックスを設置する。
2. スピーカーは、スピーカー底面のラベルを確認して4台のスピーカーを設置する場所を決める。
視聴位置を取り囲むように4台のスピーカーを設置し、フロントスピーカーはテレビを挟むように設置すると、サラウンド音声をより効果的に体感できます。

A コントロールボックス

B スピーカー底面

FRONT L フロントスピーカー左

FRONT R フロントスピーカー右

REAR L リアスピーカー左

REAR R リアスピーカー右

ご注意

- 本機とつなぐ前に、テレビや各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは、本機とテレビやAV機器をつないだ後にコンセントにつないでください。
- スピーカーの置き場所を変更したり、部屋の環境が大きく変わった場合は、アプリのリモコン画面の [設定] → [サウンド設定] → [サウンドフィールド最適化] で音場測定をやり直してください。

スピーカーからの音が途切れる場合は

設置位置や設定を変更すると、音切れが改善することがあります。

テレビ画面とセリフなどの聞こえる位置がずれて感じる場合は

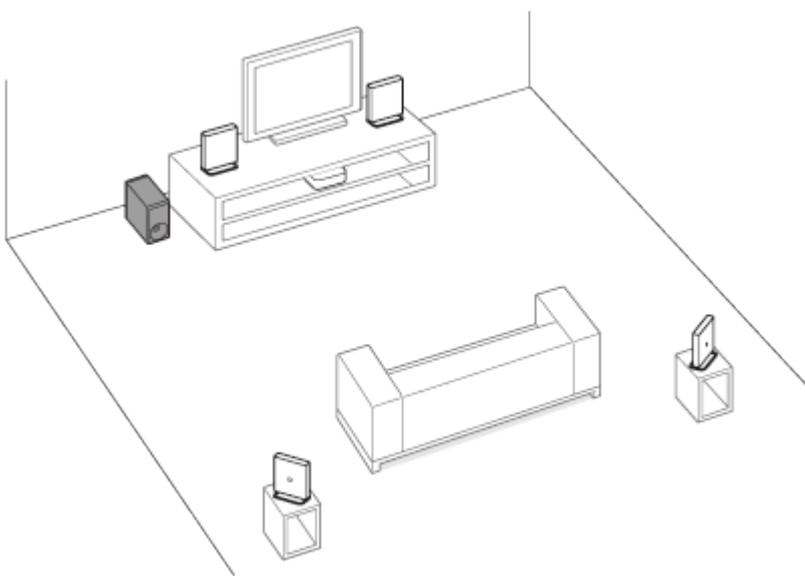
テレビからフロントスピーカー（左）とフロントスピーカー（右）の距離に大きな差があるような場合は、アプリのリモコン画面の [設定] → [サウンド設定] → [サウンドフィールド最適化] を行うと、改善することがあります。

別売のサブウーファーと一緒に使用するには

本機のセットアップをまだ開始していない場合は、“Sony | BRAVIA Connect”アプリを使ってセットアップを開始してください。セットアップの途中でアプリが別売のサブウーファーの接続を案内します。アプリでセットアップが完了していない状態では、サブウーファーから音声が出力されません。

すでに本機のセットアップが完了している場合は、アプリのリモコン画面の [設定] → [ワイヤレススピーカー設定] → [ワイヤレススピーカー接続] をご確認ください。

別売のサブウーファーの音が途切れる場合は、設置位置や設定を変更すると改善することがあります。



ご注意

- 別売のサブウーファーを使用する際に、ソフトウェアアップデートを行う必要がある場合があります。

本機や別売サブウーファーの設置方法や配置を変える場合は

次のような場合は、アプリで [サウンドフィールド最適化] (*) を行ってください。

- 本機や別売のサブウーファーの位置や設置方法を変えるとき
- 日常的に視聴する位置を変えるとき
- 家具のレイアウトを変更するなど、視聴環境を変えるとき

* アプリのリモコン画面で [設定] → [サウンド設定] → [サウンドフィールド最適化] をタップして表示します。

関連項目

- [\[サウンド設定\]](#)

TP1001051450

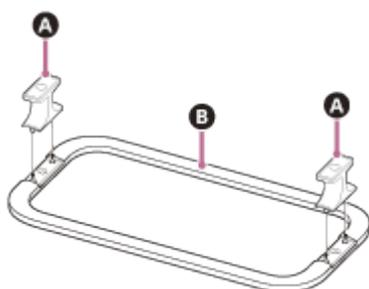
ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

スピーカーをテレビ台や棚に設置する

ご注意

- スピーカーを棚の中や天井の直下に設置しないでください。スピーカーの天面から出力される音の妨げになります。
- スピーカーを金属物の近くに設置しないでください。無線機能が不安定になる場合があります。
- 各スピーカー同士の間には障害物を置かないでください。

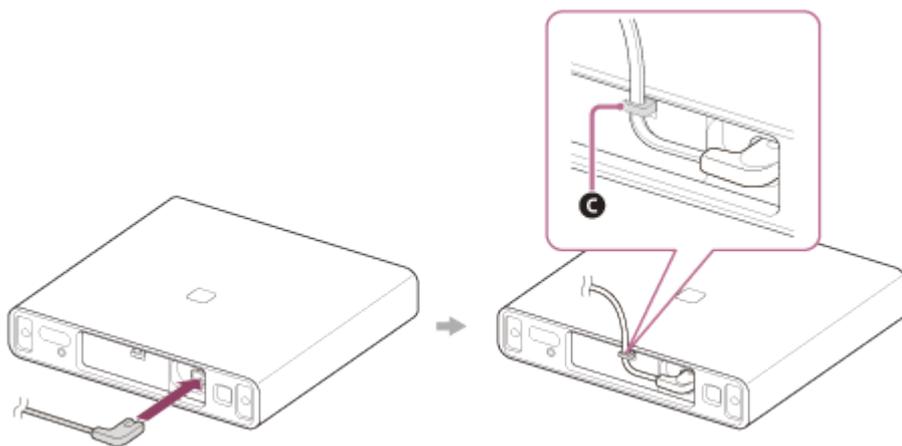
1 兼用ベース（付属）にテーブルスタンド脚（付属）をはめ込み、テーブルスタンドを組み立てる。



- A** テーブルスタンド脚
- B** 兼用ベース

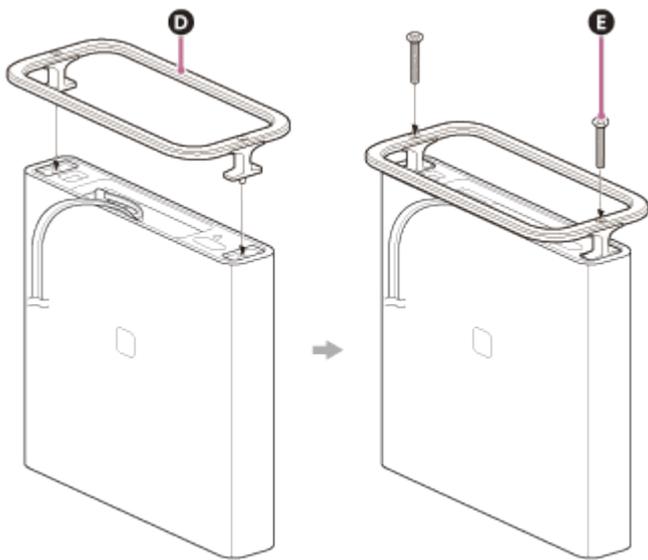
2 スピーカー用電源コード（付属）をスピーカーにつなぐ。

スピーカーにつないだ電源コードはスピーカー底面のケーブルホルダーにかけます。



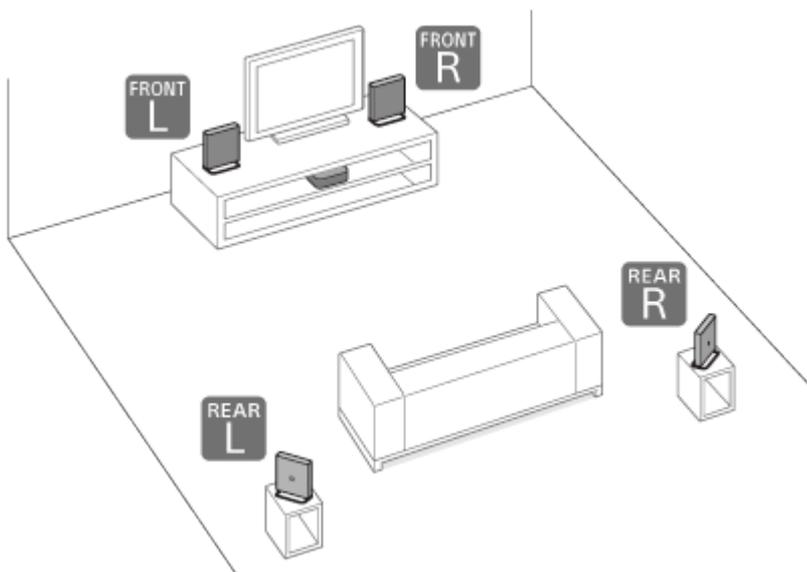
- C** ケーブルホルダー

3 スピーカー底面に手順1で組み立てたテーブルスタンドを置き、テーブルスタンドネジ（付属）で固定する。



- D** テーブルスタンド
- E** テーブルスタンドネジ

4 スピーカーの設置位置を確認し、スピーカーを設置する。



スピーカー底面ラベルを確認し、設置位置と一致していることを確認します。

- **FRONT L** : フロントスピーカー左
- **FRONT R** : フロントスピーカー右
- **REAR L** : リアスピーカー左
- **REAR R** : リアスピーカー右

5 スピーカーにつないでいるスピーカー用電源コードを電源コンセントに差し込む。

関連項目

- [電源につなぐ](#)

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

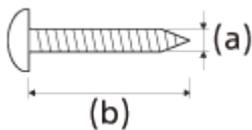
スピーカーを壁に取り付ける

ご注意

- 壁にかける場合は必ず付属の壁掛け用ブラケットを使用し、直接壁にかけないでください。製品内部の温度が上昇することで、誤動作や故障の原因となります。
- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。
- ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- 壁掛け用ブラケットは補強された壁に水平に取り付けてください。
- 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。
- スピーカーを天井の直下に設置しないでください。スピーカーの天面から出力される音の妨げになります。
- スピーカーを金属物の近くに設置しないでください。無線機能が不安定になる場合があります。
- 各スピーカー同士の間には障害物を置かないでください。

1 壁掛け用ブラケットの穴に合う市販のネジを16本用意する。

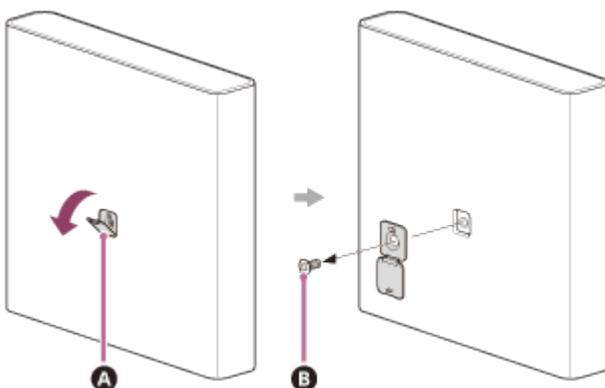
1台のスピーカーにつき4本のネジを使用します。



- (a) 4 mm
- (b) 30 mm以上

2 スピーカー背面のカバーを取り外す。

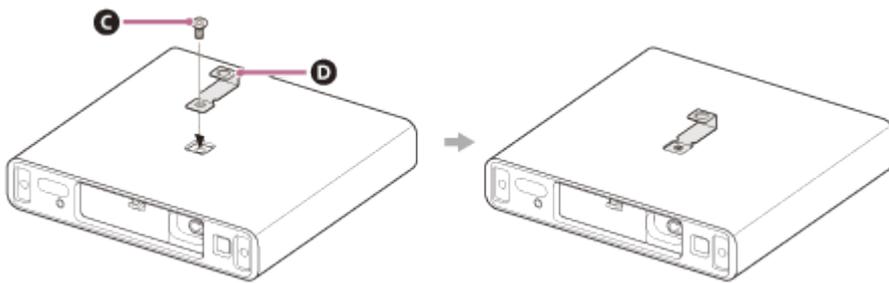
カバーを上から下に開け、ドライバーでネジを外し、カバーを取り外します。



- A カバー
- B ネジ

壁掛けフック（付属）をスピーカーに取り付ける。

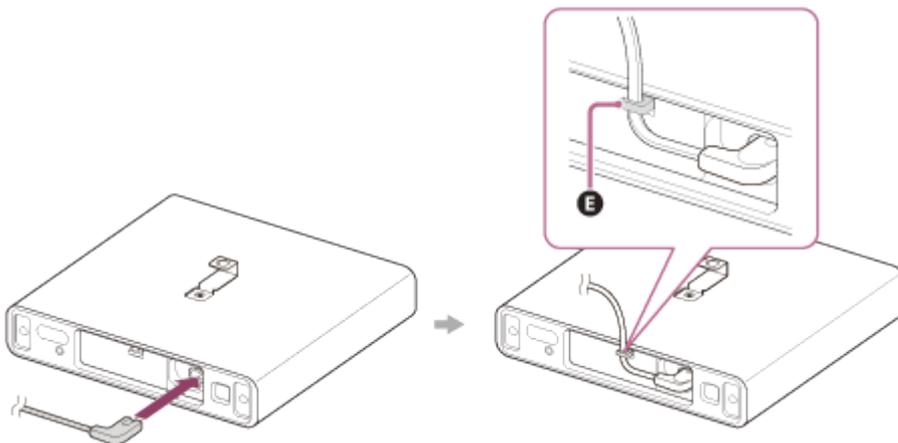
手順2で外したネジを使用します。



- C** ネジ
- D** 壁掛けフック

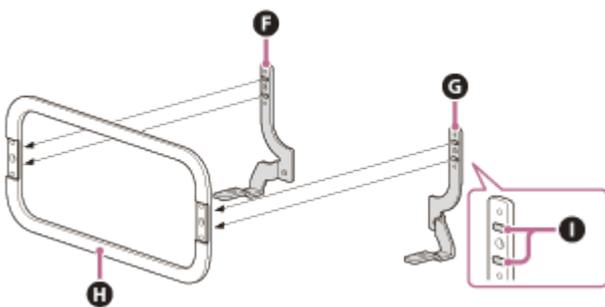
4 スピーカー用電源コード（付属）をスピーカーにつなぐ。

スピーカーにつないだ電源コードはスピーカー底面のケーブルホルダーにかけます。



- E** ケーブルホルダー

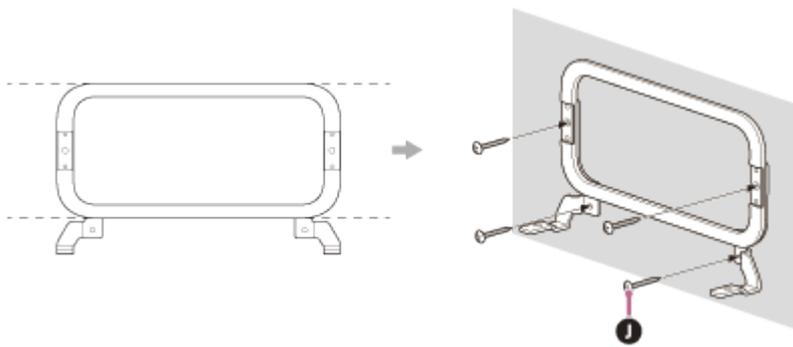
5 壁掛け金具（左）／（右）（付属）のピンを兼用ベース（付属）の穴に差し込んで、壁掛け用ブラケットを組み立てる。



- F** 壁掛け金具（左）
- G** 壁掛け金具（右）
- H** 兼用ベース
- I** ピン

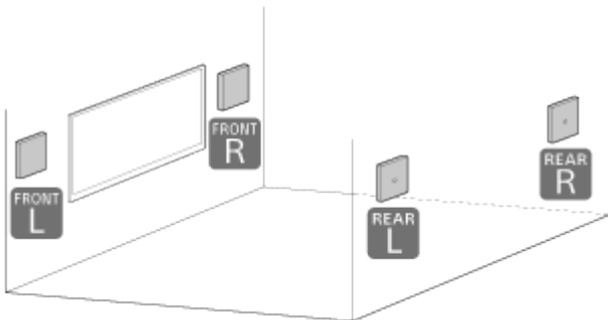
6 スピーカーをかける位置を決め、その位置に手順5で組み立てた壁掛け用ブラケットを取り付ける。

壁掛け用ブラケットが水平になるように壁に取り付けます。手順1で用意した市販のネジで4か所固定します。壁掛け金具が落ちないように、壁掛け用ブラケットを押さえながら作業してください。



1 ネジ（別売）

7 スピーカーの種類を確認する。

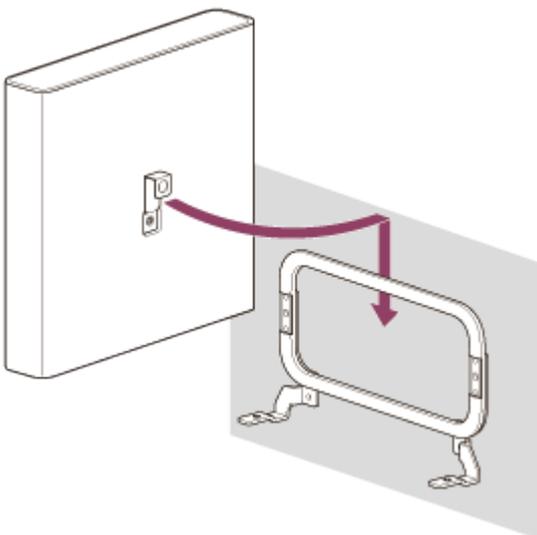


スピーカー底面ラベルを確認し、設置位置と一致していることを確認します。

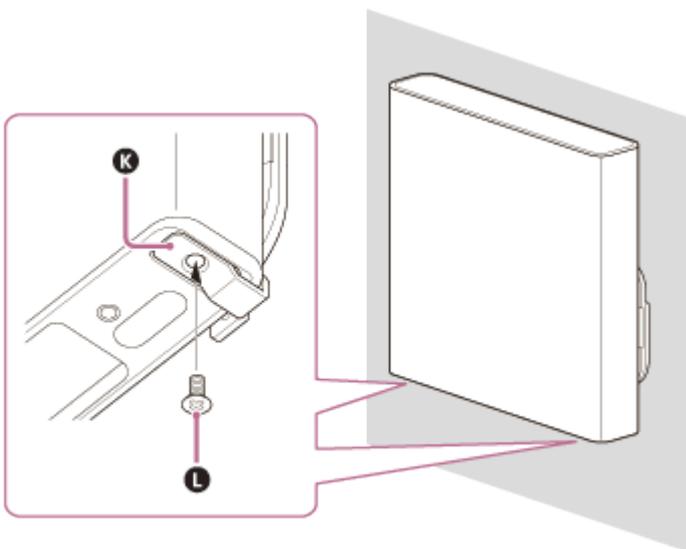
- **FRONT L** : フロントスピーカー左
- **FRONT R** : フロントスピーカー右
- **REAR L** : リアスピーカー左
- **REAR R** : リアスピーカー右

8 スピーカーを壁掛け用ブラケットにかける。

スピーカー背面の壁掛けフックを壁掛け用ブラケットにかけます。



9 スピーカー底面のネジ穴と壁掛け用ブラケットのネジ穴の位置を合わせ、付属のネジでしっかりととめる。



- K** 壁掛け用ブラケット
- L** ネジ

10 スピーカーにつないでいるスピーカー用電源コードを電源コンセントに差し込む。

ご注意

- 手順2で外したカバーは、スピーカーを壁から外したときに使えるように保存しておいてください。

関連項目

- [電源につなぐ](#)

TP1001051449

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

- テレビのHDMI機器制御機能を有効に設定してください。テレビのHDMI機器制御機能を有効にしないと、本機からテレビの音声が出力されません。
- テレビのeARC機能を有効にすることで、システム音や音声応答が出ないなど、テレビの一部動作が制限される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

TP1001051452

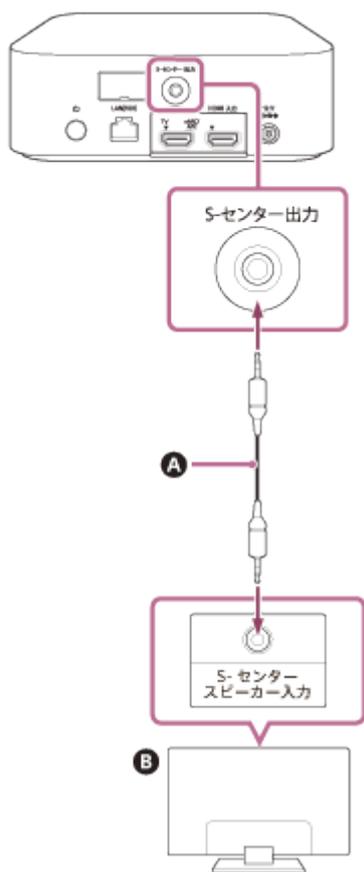
5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

テレビにS-センタースピーカー入力端子がある場合は

次の方法でテレビとつなぐと、本機のセンター成分の音声をテレビから出力できます。

- 1 本機とテレビをHDMIケーブル（付属）でつなぐ。
- 2 テレビのS-センタースピーカー入力端子と、本機のS-センター出力端子をテレビセンタースピーカーモードケーブル（付属）でつなぐ。



- A** テレビセンタースピーカーモードケーブル（付属）
B テレビ

ご注意

- コネクタは奥までしっかり差ししてください。

ヒント

- テレビセンタースピーカーモードケーブルの長さが足りないときは、市販の3極ステレオミニプラグオーディオケーブルをお使いください。

テレビから音声を出すには

アプリのリモコン画面で [設定] → [サウンド設定] → [アコースティックセンターシンク] を有効にしてください。

入力や音声信号、サウンドフィールドの設定によってはテレビから音声が出ない場合があります。詳しくは下記の表をご覧ください。

○：本機とテレビから音声が出ます。

-：テレビから音声は出ません。本機からのみ音声が出ます。

設定	テレビ、HDMI入力：2chコンテンツ	テレビ、HDMI入力：マルチチャンネルコンテンツ	BLUETOOTH入力、ミュージックサービス、AirPlay
【サウンドフィールド】(*)：オン、かつ【サウンドフィールド設定】(**)：【360 Spatial Sound Mapping】	○	○	-
【サウンドフィールド】(*)：オン、かつ【サウンドフィールド設定】(**)：【ドルビー・スピーカー・バーチャライザー】、【DTS Neural:X】	-	-	-
【サウンドフィールド】(*)：オフ	-	○	-

* アプリのリモコン画面で表示されます。

** アプリのリモコン画面で【設定】→【サウンド設定】→【サウンドフィールド設定】をタップして表示します。

関連項目

- [テレビとつなぐ](#)
- [音質を調整する](#)
- [【サウンド設定】](#)

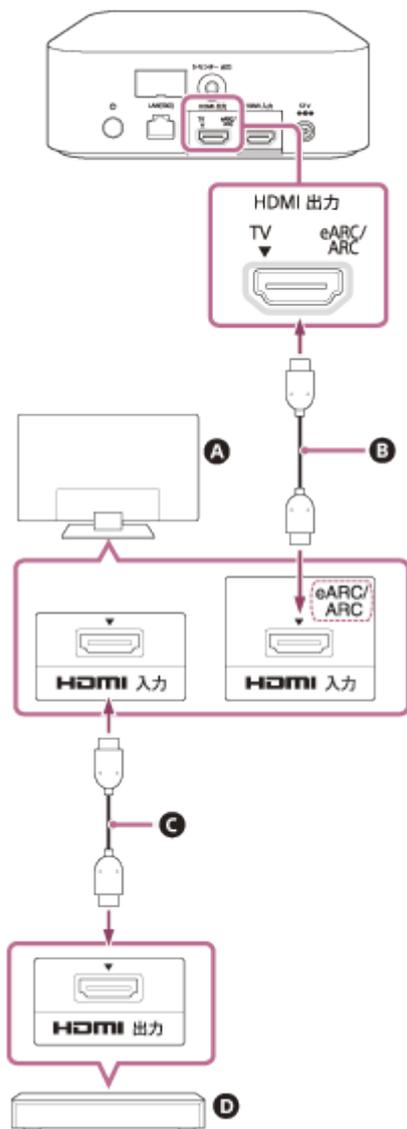
TP1001051461

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

AV機器をつなぐ

AV機器（ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など）を次の方法でつなぐと、8Kの映像およびDolby Atmos、Dolby TrueHD、DTS:Xなどの高音質な音声を再生できます。

- ① AV機器のHDMI出力端子とテレビのHDMI入力端子をHDMIケーブル（別売）でつなぐ。
- ② テレビと本機をHDMIケーブル（付属）でつなぐ。

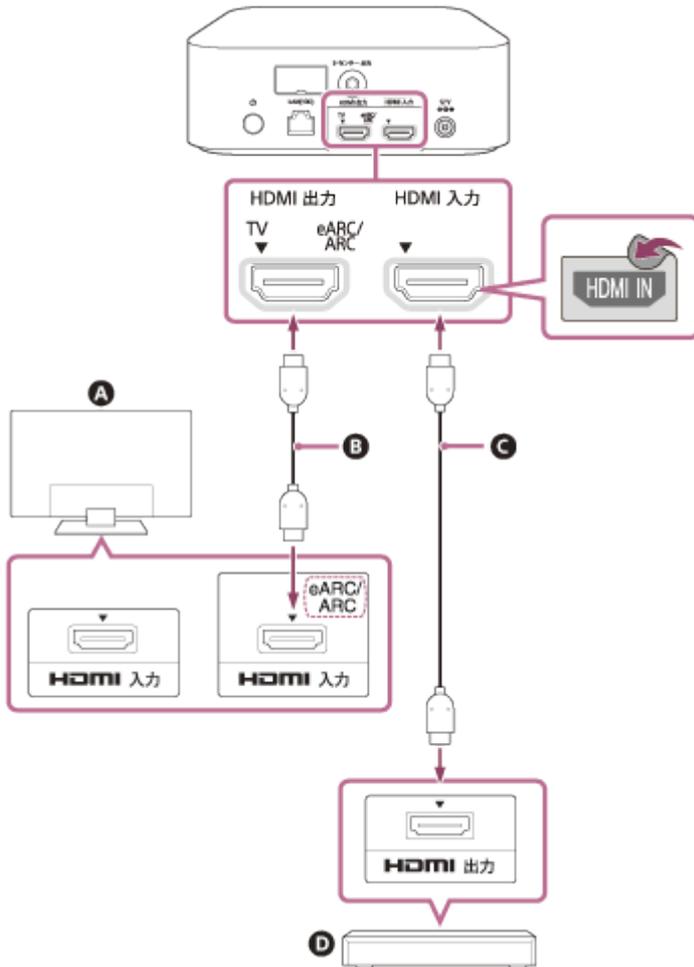


- Ⓐ テレビ
- Ⓑ HDMIケーブル（付属）
- Ⓒ HDMIケーブル（別売）
- Ⓓ AV機器（ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など）

AV機器を直接本機につなぐこともできます

AV機器で360 Reality Audioコンテンツを聞く場合は、AV機器を直接本機につないでください。
また、テレビがeARCに対応していない場合でも、AV機器を直接本機につなぐことによって、AV機器で再生したDolby Atmosなどのより高音質な音声フォーマットを再生できます。

1. テレビと本機をHDMIケーブル（付属）でつなぐ。
2. 本機のHDMI入力端子に貼られているシールをはがす。
3. 本機のHDMI入力端子とAV機器のHDMI出力端子をHDMIケーブル（別売）でつなぐ。



- A テレビ
- B HDMIケーブル（付属）
- C HDMIケーブル（別売）
- D AV機器（ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など）

ご注意

- コネクタは奥までしっかり差してください。
- 8K映像をご視聴になる場合、テレビとHDMIケーブルが8Kに対応している必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- システム音や音声応答が出ないなど、テレビの一部動作が制限される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI機器制御機能で制御できる機器の種類と数は、HDMI CEC規格で以下のとおり制限されています。
 - － 録画機器（ブルーレイディスクレコーダー、DVDレコーダーなど）：3台まで
 - － 再生機器（ブルーレイディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなど）：3台まで
 - － チューナー関連機器：4台まで
 - － オーディオシステム（AVアンプ／ヘッドホン）：1台まで（本機が使用します）

ヒント

- つなぐ機器の映像フォーマットに対応したHDMIケーブルを使用し、アプリのリモコン画面の [設定] → [HDMI設定] → [HDMI信号フォーマット] でHDMI信号フォーマットを選んでください。
- 対応している音声フォーマットについては、「関連項目」をご覧ください。

関連項目

- [テレビとつなぐ](#)
- [本機につないだAV機器で360 Reality Audioコンテンツを聞く](#)
- [対応する音声フォーマット](#)
- [対応するHDMI映像フォーマット](#)

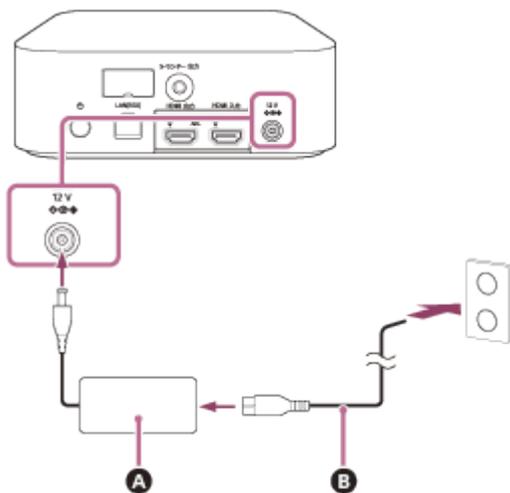
TP1001051463

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

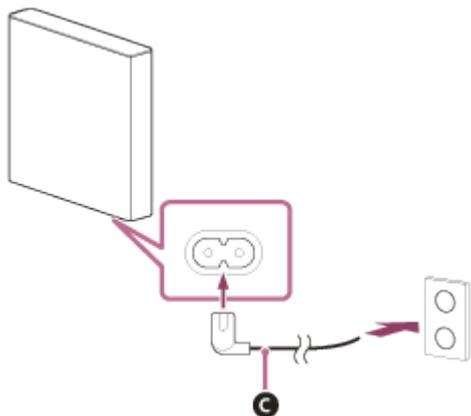
電源につなぐ

- ① コントロールボックスのDC入力端子にACアダプター（付属）と電源コード（付属）をつなぎ、コンセントに差し込む。



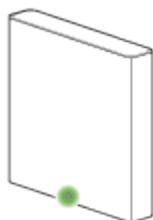
- A ACアダプター（付属）
B 電源コード（付属）

- ② 4台のスピーカーのAC入力端子にスピーカー用電源コード（付属）をつなぎ、コンセントに差し込む。



- C スピーカー用電源コード（付属）

スピーカー用電源コードをコンセントに差し込むと、スピーカーの電源が入り、スピーカーの電源ランプが緑色に点滅します。

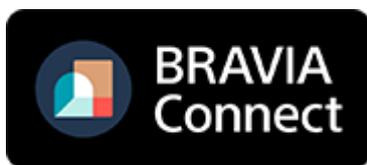


ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする

本機をセットアップするには、“Sony | BRAVIA Connect”アプリを使用します。

- 1 コントロールボックスとテレビの接続が完了し、コントロールボックスとスピーカーが電源につながっていることを確認する。
- 2 “Sony | BRAVIA Connect”アプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。



- 3 アプリを起動し、画面にしたがってセットアップを完了する。

コントロールボックスの電源がオンになるとスピーカーと自動的につながり、スピーカーの電源ランプが緑色に点灯します。

スピーカーがコントロールボックスとつながらない場合は、スピーカーの電源ランプが赤色に点灯します。「[スピーカーが正しくつながらないときは](#)」をご覧ください、スピーカーをコントロールボックスとつなげてください。

関連項目

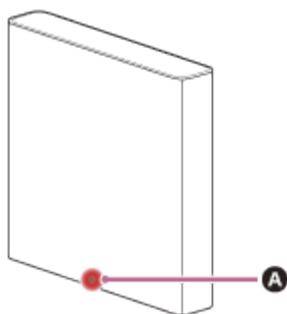
- [テレビとつなぐ](#)
- [テレビにS-センタースピーカー入力端子がある場合は](#)
- [AV機器をつなぐ](#)
- [電源につなぐ](#)

TP1001051464

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

スピーカーが正しくつながらないときは

コントロールボックスとスピーカーが正しくつながらない場合は、スピーカーの電源ランプが赤色に点灯し、アプリの画面にスピーカー接続の案内が表示されます。アプリの案内にしたがって、スピーカーをコントロールボックスにつないでください。



A 電源ランプ

ヒント

- スピーカー接続の状態は、アプリのリモコン画面の [設定] → [ワイヤレススピーカー設定] で確認できます。

関連項目

- [“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする](#)
- [\[かんたん初期設定\]](#)
- [\[ワイヤレススピーカー設定\]](#)

TP1001051475

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

テレビの音声を聞く

アプリのリモコン画面で以下のように操作してください。

1 画面上部にある再生情報表示/入力切換エリアをタップして、入力を【テレビ】に切り換える。

本機とブラビアを操作できるアプリのリモコン画面が表示されている場合は、本機の入力切換の操作は必要ありません。テレビで視聴するコンテンツに連動して、本機の音声入力が切り換わります。

2 音量を調節する。

付属リモコンで操作するには

1. INPUT（入力切換） を押して、コントロールボックスの表示窓に【TV】を表示させる。
2. 音量を調節する。

ご注意

- テレビ（eARC/ARC）入力を選んでいてもテレビの映像が出ない場合は、テレビのリモコンで見たいチャンネルを選んでください。
- テレビと本機の電源を入れる順番によっては、本機が消音状態になり、コントロールボックスの表示窓に【MUTING】と表示される場合があります。その場合は、テレビの電源を入れてから、本機の電源を入れてください。

TP1001051456

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

本機につないだAV機器を再生する

アプリのリモコン画面で以下のように操作してください。

1 画面上部にある再生情報表示/入力切替エリアをタップして、入力を [HDMI] に切り換える。

本機とブラビアを操作できるアプリのリモコン画面が表示されている場合は、本機の入力切替の操作は必要ありません。テレビで視聴するコンテンツに連動して、本機の音声入力が切り換わります。

2 音量を調節する。

付属リモコンで操作するには

1. INPUT (入力切替) を押して、コントロールボックスの表示窓に [HDMI] を表示させる。
2. 音量を調節する。

ご注意

- 本機のHDMI入力端子につないだ機器の映像が出ない場合は、つないだ機器の再生ボタンを押してください。
- 本機につないだ機器の映像が出ない、または正しく表示されない場合は、アプリのリモコン画面の [設定] → [HDMI設定] → [HDMI信号フォーマット] の設定を変更してください。
- HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) に対応している機器に本機をつないでいるか確認してください。詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDRコンテンツがハイダイナミックレンジで表示されない場合は、テレビまたはつないだ機器の設定を確認してください。詳しくは、テレビまたはつないだ機器の取扱説明書をご覧ください。
- [HDMI信号フォーマット] の設定によっては、AV機器がHDRコンテンツをHDRのまま出力できない場合があります。AV機器が対応している映像フォーマットに応じて、アプリのリモコン画面の [設定] → [HDMI設定] → [HDMI信号フォーマット] の設定を変更してください。
- 本機の電源が入っていないとき、テレビに本機につないだ機器の映像と音声が出ない場合は、アプリのリモコン画面で [設定] → [HDMI設定] → [スタンバイスルー] を [自動] または [オン] に設定してください。

関連項目

- [\[HDMI設定\]](#)

TP1001051457

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

音質を調整する

アプリのリモコン画面や付属リモコンで以下のような音質調整ができます。

アプリのリモコン画面で操作する

アプリに対応したブラビアを本機とHDMIケーブルでつないでいる場合は、[画質と音質]を選んでください。

- **【サウンドフィールド】**
サラウンド効果を加えて音声を再生します。臨場感のあるサラウンドを体感したいときに適しています。
- **【ボイスモード】**
セリフを強調し、聞こえやすくします。
- **【ボイスズーム】**
本機との連携機能に対応しているソニー製テレビをつないでいると有効になる機能です。本機の入力をテレビにすると、ボイスモードの代わりにボイスズームが働きます。
ボイスズームは、全体の音量を変えずに人の声の音量だけを調節できます。ニュースキャスターの声を聞き取りやすくしたいときには声の音量を大きく、スポーツ中継など実況や解説の声が大きいと感じるときは声の音量を小さくするなどの調節ができます。
- **【ナイトモード】**
深夜の小音量時でも音響効果やセリフの明瞭さを失わずに音声を楽しめます。

付属リモコンで操作する

付属リモコンのボタンを押すたびに設定が変わり、コントロールボックスの表示窓に設定が表示されます。

- **SOUND FIELD (サウンドフィールド)**
サラウンド効果を加えて音声を再生します。臨場感のあるサラウンドを体感したいときに適しています。
[SF.ON] : サウンドフィールドがオンに設定されています。
[SF.OFF] : サウンドフィールドがオフに設定されています。
- **VOICE (ボイスモード)**
セリフを強調し、聞こえやすくします。
本機との連携機能に対応しているテレビをつないでいるときは、ボイスズームが働いて人の声の音量を調節します。ボイスズームをオンにすると、テレビのメニューやアプリのリモコン画面で最後に調節した値が適用されます。
[Vo.ON] : ボイスモードがオンに設定されています。
[Vo.OFF] : ボイスモードがオフに設定されています。
- **NIGHT (ナイトモード)**
深夜の小音量時でも音響効果やセリフの明瞭さを失わずに音声を楽しめます。
[N.ON] : ナイトモードがオンに設定されています。
[N.OFF] : ナイトモードがオフに設定されています。

ご注意

- テストトーン出力中はサウンドフィールドは使えません。
- [サウンドフィールド設定] が [ドルビー・スピーカー・バーチャライザー]、かつサウンドフィールドがオンのときは、ボイスモードは無効になります。 (*)

- サウンドフィールドの設定 (*) とコンテンツの組み合わせによっては、[サウンドフィールド最適化] (**) の効果が適用されないことがあります。
 - サラウンド処理により得られる臨場感は、再生するコンテンツによって異なる場合があります。
 - マルチチャンネルの音声を再生するには、つないだ機器のデジタル音声設定を確認してください。詳しくは、つないだ機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
 - コンテンツやサウンドフィールドの設定 (*) によっては音が出ないスピーカーがあります。
 - 本機の電源を切ると、ナイトモードは自動的にオフになります。
 - 本機との連携機能に対応しているテレビは、下記のURLをご確認ください。
https://www.sony.net/hav_faq
 - テレビの設定やコンテンツによっては、ボイスズームが動作しないことがあります。
- * サウンドフィールドのオン/オフ、およびアプリのリモコン画面で [設定] → [サウンド設定] → [サウンドフィールド設定] をタップして表示される設定です。
- ** アプリのリモコン画面で [設定] → [サウンド設定] → [サウンドフィールド最適化] をタップして表示します。

関連項目

- [\[サウンド設定\]](#)

TP1001053991

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

BLUETOOTH機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く

BLUETOOTH機能を使うには、あらかじめ本機でBLUETOOTH機器をペアリングする必要があります。
ペアリングとは、機器同士を互いにあらかじめ登録することです。

1 BLUETOOTH機器の電源を入れる。

2 アプリのリモコン画面で入力を【Bluetooth】に切り換える。

すでに本機を別のBLUETOOTH機器とつないでいる場合は、【他の機器と接続する】を選びます。
【Bluetooth】入りに切り換えると、本機がペアリングモードになり、コントロールボックスの表示窓に【PAIRING】が表示されます。

3 BLUETOOTH機器でペアリング操作をして、本機を検索する。

BLUETOOTH機器が検出したBLUETOOTH機器の一覧がBLUETOOTH機器の画面に表示されます。
BLUETOOTH機器でペアリングする操作については、BLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

4 BLUETOOTH機器の画面に表示された機器の一覧から本機（*）を選び、本機とBLUETOOTH機器を相互に登録する。

パスコードを要求された場合は、「0000」を入力します。

* BRAVIA Theatre Quadまたは【本機の名前】で設定した機器名

5 アプリのリモコン画面で本機とBLUETOOTH機器がBLUETOOTH機能でつながったことを確認する。

コントロールボックスの表示窓に、つないだBLUETOOTH機器名が表示されます。

6 BLUETOOTH機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。

本機から音声が出力されます。

7 音量を調節する。

アプリのリモコン画面、音楽再生アプリ、または付属リモコンの （音量）+ / - で音量を調節できます。
アプリのリモコン画面で再生操作アイコンをタップして、コンテンツの再生や一時停止をすることもできます。

ご注意

- ペアリングに失敗する場合は、BLUETOOTH機器で以下の操作をお試しください。
 - ペア設定リクエストを許可する。
 - BLUETOOTH機器のペアリング済み機器が上限数に達している場合は、不要な機器を削除する。
 - 本機を初期化したときは、BLUETOOTH機器から本機のペアリング情報を削除して、もう一度ペアリングを行う。

ヒント

- まだ1台もペアリングをしていない場合（本機ご購入直後など）は、【Bluetooth】入りに切り換えるだけでペアリングモードになります。

- 2台目以降もBLUETOOTH機器ごとにペアリングを行ってください。

関連項目

- [無線機能のオン/オフを設定する](#)
- [初期化する](#)

TP1001051458

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

機器登録（ペアリング）済みのBLUETOOTH機器の音楽を聞く

1 BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにする。

2 アプリのリモコン画面で入力を【Bluetooth】に切り換える。

本機と最後につないだBLUETOOTH機器と自動的につながります。

本機を別のBLUETOOTH機器とつないでいる場合は、【他の機器と接続する】を選んでください。次に本機とつなぎたいBLUETOOTH機器を操作してBLUETOOTH機能の接続相手に本機を選んでください。

3 BLUETOOTH機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。

本機から音声が出力されます。

4 音量を調節する。

アプリのリモコン画面または音楽再生アプリから音量を調節できます。

アプリのリモコン画面で再生操作アイコンをタップして、コンテンツの再生や一時停止をすることもできます。

付属リモコンで操作するには

1. BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにする。
2. INPUT（入力切替）を押して、BLUETOOTH入力を選ぶ。

本機と最後につないだBLUETOOTH機器と自動的につながります。

手順1で操作したBLUETOOTH機器につながらなかった場合は、アプリのリモコン画面で【他の機器と接続する】を選んでください。次に手順1で操作したBLUETOOTH機器を操作してBLUETOOTH機能の接続相手に本機を選んでください。

3. BLUETOOTH機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。
4. 音量を調節する。

ヒント

- 本機とBLUETOOTH機器をBLUETOOTHで接続できなかった場合、BLUETOOTH機器で本機を選んでください。
- 音の遅延が気になる場合は、アプリのリモコン画面で【設定】→【Bluetooth設定】→【Bluetooth接続品質】を【接続優先】に変更すると改善する場合があります。

BLUETOOTH機器の接続を解除する

次のいずれかを行ってください。

- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオフにする。
- 本機またはBLUETOOTH機器の電源を切る。

- 無線機能のオン/オフを設定する

TP1001051466

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

無線機能のオン/オフを設定する

お買い上げ時は、無線機能がオンに設定されています。

- 付属リモコンのINPUT（入力切替）、（音量）-、（消音）を順に押すと、コントロールボックスの表示窓に [RFOFF] と表示され、BLUETOOTHとWireless LAN機能がオフになります。
- 付属リモコンのINPUT（入力切替）、（音量）-、（消音）を順にもう一度押すと、コントロールボックスの表示窓に [RF ON] と表示され、BLUETOOTHとWireless LAN機能がオンになります。

ご注意

- 無線機能がオフに設定されている場合、以下の操作を行うことはできません。
 - BLUETOOTH機器とペアリングまたは接続する。
 - “Sony | BRAVIA Connect”を使用する。
 - 無線LAN経由でネットワークの音楽再生する。

TP1001053985

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

360 Reality Audioについて

本機は360 Reality Audioに対応しています。

360 Reality Audioとは、ソニーのオブジェクトベースの空間音響技術で、アーティストがライブ演奏をする場に入り込んだかのような、臨場感豊かな音場を実現する新たな音楽体験です。

詳しくは、以下のURLをご覧ください。

<https://www.sony.net/360RA/>

関連項目

- [本機につないだAV機器で360 Reality Audioコンテンツを聞く](#)

TP1001273790

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

本機につないだAV機器で360 Reality Audioコンテンツを聞く

360 Reality Audio対応のAV機器を本機につなぐと、360 Reality Audioコンテンツを本機で再生することができます。

- 1 360 Reality Audio対応のAV機器を本機のHDMI入力端子につなぐ。
- 2 アプリのリモコン画面で、画面上部にある再生情報表示/入力切換エリアをタップして、入力を [HDMI] に切り換える。
- 3 つないだAV機器を操作し、360 Reality Audio対応コンテンツを再生する。

付属リモコンで操作するには

1. 360 Reality Audio対応のAV機器を本機のHDMI入力端子につなぐ。
2. INPUT (入力切換) を押して、コントロールボックスの表示窓に [HDMI] を表示させる。
3. つないだAV機器を操作し、360 Reality Audio対応コンテンツを再生する。

ヒント

- 360 Reality Audio対応のAV機器については以下のURLをご覧ください。
<https://www.sony.net/360RA/#theater>

関連項目

- [AV機器をつなぐ](#)

TP1001273789

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

Spotifyを使う

Spotifyアプリから音楽を選び、本機で再生することができます。

“Spotify Connect”機能を使って本機で音楽を再生する

スマホ、タブレット、パソコンをリモコンにして、Spotifyで音楽を楽しめます。詳しくは spotify.com/connect をご覧ください。

ヒント

- アプリのリモコン画面で [設定] → [本体設定] → [ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] を [オフ] に設定すると、スタンバイ状態から再生開始できません。 [オン] に設定すると、スタンバイ状態から起動して、音楽を再生することができます。

モバイル機器で再生した音楽のつづきを再生する

- 1 **INPUT (入力切替)** を押して、コントロールボックスの表示窓に **[SPOTIFY]** を表示させる。
本機でSpotifyの音楽を一度再生していると、Spotifyで聞いていた音楽のつづきが再生されます。

TP1001051476

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

AirPlayを使う

本機はAirPlayに対応しています。iPhone、iPad、iPod touchなどのiOSデバイスで音楽コンテンツを選び、本機にストリーミングできます。

- 1 本機をつないでいる同一のネットワークにiOSデバイスをWi-Fiでつなぐ。
- 2 iOSデバイスでストリーミングしたい音楽を再生する。
- 3 iOSデバイスでAirPlayのアイコン () を表示してタップする。
- 4 iOSデバイスでストリーミング先のスピーカーとして本機を選ぶ。
本機で音楽が再生されます。

ヒント

- 本機と同時に複数のスピーカーを選んで、複数のスピーカーで音楽をストリーミングすることもできます。
- アプリのリモコン画面で [設定] → [本体設定] → [ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] を [オフ] に設定すると、スタンバイ状態から再生開始できません。 [オン] に設定すると、スタンバイ状態から起動して、音楽を再生することができます。

Siriに話しかけて、音楽を本機でストリーミングする

iOSデバイスのホームアプリに本機を追加すると、Siriに話しかけて本機に音楽をストリーミングできます。

ご注意

- 本機はマイクを搭載していないため、本機に話しかけて操作することはできません。
- 本機でSiriのすべての機能を使えるわけではありません。

TP1001053958

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

テレビと本機を連携して操作する（HDMI機器制御機能）

HDMI機器制御機能対応のテレビと本機をHDMIケーブルでつなぐと、本機とテレビの電源の入/切や音量の調節を連携させることができます。

HDMI機器制御機能とは

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）ケーブルでつないだ機器同士が連携して動作する機能のことです。HDMI機器制御機能に対応した機器間で働きますが、他社製の機器とつないだ場合に動作しない場合があります。

テレビと連携して使う準備をする

本機とHDMIケーブルでつないだテレビのHDMI機器制御機能を有効にしてください。
お買い上げ時は、本機のHDMI機器制御機能は有効に設定されています。

ご注意

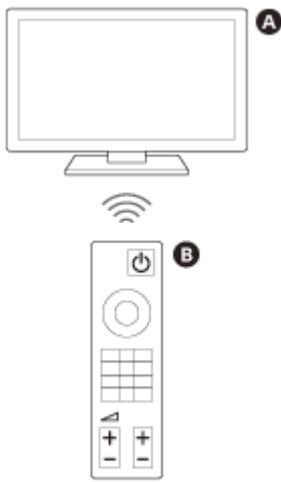
- テレビがHDMI機器制御機能に対応している必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビのスピーカー設定を確認してください。本機の電源はテレビのスピーカー設定に連動します。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビによっては、前回テレビのスピーカーから音声が出力されていた場合は、テレビの電源を入れても本機の電源が入らない場合があります。

ヒント

- ブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブルでテレビにつないでいる場合は、その機器のHDMI機器制御機能も有効にしてください。
- テレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器のHDMI機器制御機能を有効にするには、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ソニー製のテレビをご使用の場合は、テレビのHDMI機器制御（“ブラビアリンク”）機能を有効にすると、本機のHDMI機器制御機能も自動的に有効になります。
- 本機のHDMI機器制御機能の設定は、アプリのリモコン画面の [設定] → [HDMI設定] → [HDMI機器制御] で変更できます。

テレビのリモコンで本機の電源や音量を操作する

テレビのリモコンで電源や音量を操作すると、テレビに連携して本機が動作します。



- A テレビ
- B テレビのリモコン

電源の連動

テレビの電源を入れると、本機の電源も自動的に入ります。テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れます。

ご注意

- テレビの電源を切るよりも前に本機の電源を切ると、次にテレビの電源を入れても本機の電源が入らないことがあります。この場合、以下の操作をすると本機の電源が入ります。
 - テレビのメニューで、本機をスピーカー出力先に選ぶ。
 - ソニー製のテレビをお使いの場合は、テレビの電源が入っている状態で本機の電源を入れる。

音量の調節

テレビで視聴している映像の音声自動的に本機のスピーカーから出力されます。また、テレビのリモコンで本機の音量を調節できます。

ワンタッチプレイ

本機につないだブルーレイディスクレコーダーでコンテンツを再生したり、PlayStation®5ではコントローラーのPSボタンを押すなどの操作で、自動的に本機とテレビの電源が入ります。

ご注意

- アプリのリモコン画面で [設定] → [HDMI設定] → [スタンバイスルー] が [自動] または [オン] に設定されていて、かつ、前回テレビのスピーカーから音声が出力されていた場合、テレビによっては機器のコンテンツを再生しても本機の電源は入らずに、テレビから音声と映像が出力されることがあります。

関連項目

- [\[HDMI設定\]](#)

TP1001051494

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

“ブラビアリンク”対応テレビと本機を連携して操作する

“ブラビアリンク”はHDMI機器制御機能をソニーが独自に拡張した機能です。“ブラビアリンク”対応のテレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブルでつなぐと、これらの機器を連携して操作ができます。

“ブラビアリンク”を使うには

ソニー製の機器のHDMI機器制御機能を有効にすると、“ブラビアリンク”が有効になります。

“ブラビアリンク”でできること

HDMI機器制御機能

- 電源の連動
- 音量の調節
- ワンタッチプレイ

関連項目

- [テレビと本機を連携して操作する（HDMI機器制御機能）](#)
- [\[HDMI設定\]](#)

TP1001051495

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

【ワイヤレススピーカー設定】

付属のスピーカーや別売のサブウーファアの接続に関する設定です。
アプリのリモコン画面で「設定」→「ワイヤレススピーカー設定」をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

ワイヤレススピーカー状態確認

アプリの画面で本機とつながっているスピーカーの接続状態を確認できます。

【ワイヤレススピーカー接続】

別売のサブウーファアの接続設定を行います。すでにサブウーファアをつないでいる状態で、新しいサブウーファアと入れ換えることもできます。

【ワイヤレスチャンネル】

通常は「自動」に設定します（自動的にワイヤレス通信に最適なチャンネルを選びます）。音切れする場合などは、チャンネルを固定することにより改善することもあります。

【ワイヤレス再生品質】

付属の4台のスピーカーや別売のサブウーファアの再生品質を設定します。

TP1001051467

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

[サウンド設定]

音声の出力に関する設定です。

アプリのリモコン画面で [設定] → [サウンド設定] をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

[サウンドフィールド最適化]

サウンドフィールドの最適化を行います。画面にしたがって操作してください。

[サウンドフィールド設定]

サラウンド効果の種類を選びます。選んだサウンドフィールドの効果を楽しむには、付属リモコンまたはアプリのリモコン画面で、サウンドフィールドを有効にしてください。

[サウンドフィールドの高さ]

音場全体の高さを調整し、映像と音の一体感を改善します。

[アコースティックセンターシンク]

本機とテレビを付属のHDMIケーブルおよび付属のテレビセンタースピーカーモードケーブルでつなぐと、本機のセンター成分の音声をテレビから出力できます。[HDMI機器制御] を [オン] にしてください。

[サウンド出力の確認]

現在の設定でのサウンド出力、および各スピーカーから安定して音が出力されているかを確認できます。

[DSEE Ultimate]

圧縮音源をAI技術で高精度にアップスケールして再生します。

[オーディオDRC]

音声信号のダイナミックレンジ（最大音量から最小音量の幅）を圧縮して、小さな音を聞きとりやすくします。

[DTSダイアログコントロール]

DTS:Xダイアログコントロールに対応したコンテンツの再生中にセリフの音量を調節できます。

[AVシンク]

音声と映像のずれを調節します。

[入力レベル自動調整]

入力信号による音量の変化を小さくします。例えばコマーシャルの音量が番組の音量より大きい場合などに有効です。

関連項目

- [付属リモコン](#)
- [アプリのリモコン画面](#)
- [テレビにS-センタースピーカー入力端子がある場合は](#)
- [\[HDMI設定\]](#)

TP1001051534

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

【HDMI設定】

HDMIに関する設定です。
アプリのリモコン画面で [設定] → [HDMI設定] をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【HDMI機器制御】

HDMI機器制御機能が有効なとき、HDMIケーブルでつないだ機器を相互に操作したり、テレビからARC音声を受けることができます。

【テレビ電源オフ連動】

テレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。[HDMI機器制御] を [オン] にしてください。

【スタンバイスルー】

本機の電源を切った状態でもHDMI信号をテレビに送ることができます。

【eARC】

eARC対応テレビにつないでいるとき、設定を有効にするとeARC機能が働きます。ARC対応テレビ（eARC非対応テレビ）につないでいるときは、この設定に関係なくARC機能が働きます。
eARCを有効にしたときは、テレビのeARC設定を確認してください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

【HDMI信号フォーマット】

受信できる映像フォーマットを設定します。本機につないだ機器の映像や音声为正しく出ない場合は、本設定を変更してください。

ご注意

- 本設定で選んだ映像フォーマットが出力されない場合は、お使いのテレビの映像信号の仕様や設定が本機と一致していない可能性があります。お使いのテレビの映像入力の仕様や設定をご確認ください。テレビの仕様や設定については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本設定を [拡張フォーマット (4K120, 8K)] に設定しているときに映像や音声が出力されない場合は、[拡張フォーマット] または [標準フォーマット] に設定してください。
- 本設定を [拡張フォーマット] に設定しているときに映像や音声が出力されない場合は、[標準フォーマット] に設定してください。
- 受信できる映像フォーマット、使用できるHDMIケーブルについて、詳しくは、[「対応するHDMI映像フォーマット」](#)をご覧ください。
- VRR/ALLM/SBTM機能は、本設定に連動しており、[拡張フォーマット (4K120, 8K)]（お買い上げ時の設定）の場合に有効となります。

【テレビ2画面表示用映像出力】

本機でテレビ入力を選んでいるときに、本機のHDMI入力の映像をテレビに出力します。テレビで本機のHDMI入力の映像を含めた2画面表示をするときは、この設定をオンにします。

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

【Bluetooth設定】

BLUETOOTH機能の詳細設定です。
アプリのリモコン画面で [設定] → [Bluetooth設定] をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【Bluetooth接続品質】

モバイル機器の音声を本機で聞くときのBLUETOOTH接続品質を設定します。

関連項目

- [無線機能のオン/オフを設定する](#)

TP1001051535

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

【本体設定】

本機に関する設定です。
アプリのリモコン画面で [設定] → [本体設定] をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【自動電源オフ】

何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、自動的にネットワークスタンバイ状態またはスタンバイ状態になります。

【ネットワーク/Bluetoothスタンバイ】

ネットワーク経由またはBLUETOOTH機能で本機の電源を入れることができます。アプリから本機の電源を入れることもできます。

オン： [自動電源オフ] 機能の発動後はネットワークスタンバイ状態になります。

オフ： [自動電源オフ] 機能の発動後はスタンバイ状態になります。

【自動アップデート】

ネットワークアップデートを自動的に実行するかどうかを設定します。

【本体表示の明るさ】

表示窓とランプの明るさを調節できます。別売のサブウーファースのランプの明るさも調節できます。

【本機の名前】

BLUETOOTH機能を使うときなどに表示される本機の名前を、わかりやすい名前に変更できます。

【システム情報】

本機のソフトウェアバージョンなどの本体情報を表示します。

【ソフトウェアライセンス】

ソフトウェア使用許諾契約を表示します。

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

【通信設定】

通信に関する設定です。
アプリのリモコン画面で [設定] → [通信設定] をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【ネットワーク接続状態】

本機のネットワーク設定を確認できます。

【アカウントの管理】

本機を利用中のユーザー一覧の確認、ならびに利用登録の解除が行えます。最大20ユーザーのアカウント登録が可能です。

【外部機器からの操作】

外部制御機器から本機操作を有効にするか無効にするかを設定できます。カスタムインストール業者用の設定項目です。通常は無効にしてお使いください。

【プライバシーの設定】

本機には、機器の使用状況を収集する機能が搭載されています。設定時に表示されるプライバシーポリシーをご確認いただき、情報収集の諾否を設定してください。

ヒント

- 一度同意しても、同意をとりやめる、または本機をお買い上げ時の設定に戻すと、情報収集を中止できます。

関連項目

- [初期化する](#)

TP1001051507

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

【かんたん初期設定】

本機の基本的な設定やスピーカー設定、サラウンドの最適化を簡単に行うことができます。
アプリのリモコン画面で【設定】 → 【かんたん初期設定】 をタップしてください。

TP1001053990

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

【ソフトウェアアップデート】

コントロールボックスや付属の4台のスピーカー、別売のサブウーファーのソフトウェアをアップデートします。
アプリのリモコン画面で [設定] → [ソフトウェアアップデート] をタップしてください。

TP1001051509

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

スタンバイ時の消費電力を抑える

スタンバイ時の消費電力を抑えるには、以下の設定をします。

- アプリのリモコン画面で [設定] → [HDMI設定] → [スタンバイスルー] を [オフ] に設定する。
- アプリのリモコン画面で [設定] → [本体設定] → [ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] を [オフ] に設定する。

ご注意

- [ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] を [オフ] にすると、スピーカーから音声が出力されるまで時間がかかることがあります。

TP1001051497

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れにしたがってください。

1. 本機およびテレビにつないでいる機器が、正しい端子と正しいケーブルでつながっており、奥までしっかり差し込まれていることを確認する。



2. 本機の通風孔がふさがっていないか確認する。



3. 電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、数分後に再び電源コードを差し直す。



4. "Sony | BRAVIA Connect"アプリのメニューからサポートサイトにアクセスし、該当するトラブルと解決方法を調べる、または下記のサポートサイトを確認する。

<https://www.sony.jp/support/home-theater/products/ht-a9m2.html>



5. 本機を初期化する。

本機のすべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります。



6. それでも正常に動作しない場合は、お買い上げ店またはソニー相談窓口にお問い合わせる。

関連項目

- [初期化する](#)

TP1001051558

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

初期化する

「困ったときにすること」で症状が改善されない場合は、本機を初期化してください。

コントロールボックスを初期化する

コントロールボックスの （電源）を10秒以上押す。

スピーカーを初期化する

スピーカー底面のLINK（リンク）を10秒以上押す。

スピーカーの電源ランプがゆっくり赤色で点滅し、初期化が開始されます。初期化が完了すると緑色とアンバー色に交互に点滅します。

初期化が完了したらスピーカー用電源コードをコンセントから抜き、スピーカーの電源ランプが消えるのを待ってからスピーカー用電源コードを差し直してください。

ご注意

- 本機を初期化したときは、本機とつないだスマートフォンなど（*）のBLUETOOTH設定から、本機のペアリング情報（本機の名前（**）、LE_本機の名前）を削除してください。
* アプリをインストールしたスマートフォン、BLUETOOTH対応の音源機器などが該当します。
** BRAVIA Theatre Quadまたは〔本機の名前〕で設定した機器名
- コントロールボックスやスピーカーを初期化した場合は、アプリで初期設定を行ってください。
- [外部機器からの操作] を有効にしているときは、本操作のみでは一部の設定情報が消去されません。事前に下記の手順を実施した後に、本初期化操作を行ってください。
手順：付属リモコンのNIGHT（ナイトモード）を5秒押した後に、（音量）+、（音量）-、（消音）をそれぞれ順番に押す。

関連項目

- [“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする](#)
- [\[ワイヤレススピーカー設定\]](#)

TP1001053984

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

主な仕様

スピーカー (YY2080C2/YY2080C3/YY2080C4/YY2080C5)

仕様はスピーカー1台あたりの数値を表記しています。

フロントスピーカー部

ウーファー

85 mm × 85 mm コーン型

ミッドレンジスピーカー

60 mm コーン型

ツイーター

19 mm ソフトドーム型

形式

3ウェイスピーカーシステムバスレフ型

トップスピーカー部

使用スピーカー

36 mm × 79 mm コーン型

形式

フルレンジスピーカーシステムアコースティックサスペンション型

一般

消費電力

On状態のとき : 20 W

ネットワークスタンバイ状態のとき (電源ランプが赤色に点灯しているとき) : 1.1 W以下

電源オフ状態のとき (電源ランプが消灯しているとき) : 0.5 W以下*

* LINK (リンク) を2秒間以上押してから離すと電源オフに遷移し、電源ランプが消灯します。再びご使用になる際はLINK (リンク) を押してください。

[自動電源オフ] 機能が有効なとき、何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、スピーカーは自動的にネットワークスタンバイ状態になります。

[自動電源オフ] 機能を無効にすると、本機の消費電力が増えます。

最大外形寸法* (約) (幅/高さ/奥行き)

スピーカー :

289 mm × 275 mm × 55 mm

スピーカー (テーブルスタンド含む) :

289 mm × 306 mm × 129 mm

スピーカー (壁掛け用ブラケット含む) :

289 mm × 279 mm × 73 mm

* 突起部除く

質量 (約)

スピーカー :

2.4 kg

スピーカー (テーブルスタンド含む) :

2.6 kg

スピーカー (壁掛け用ブラケット含む) :

2.7 kg

コントロールボックス (YY2080C1)

HDMI部

端子

19ピン標準コネクタ (Type A)

LAN部

LAN (100) 端子

100BASE-TX端子

無線LAN部

通信方式

IEEE 802.11 a/b/g/n/ac

使用周波数帯域

2.4 GHz、5 GHz

BLUETOOTH部

通信方式

BLUETOOTH標準規格 Ver.5.2

出力

BLUETOOTH標準規格 Power Class 2

最大通信距離

見通し距離約30 m ¹⁾

登録台数

9台まで : BLUETOOTH Low Energy (Sony | BRAVIA Connect接続)

9台まで : BLUETOOTH Classic (A2DP)

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯 (2.400 0 GHz ~ 2.483 5 GHz)

変調方式

FHSS

対応BLUETOOTHプロファイル²⁾

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

対応コーデック³⁾

SBC (Subband Codec)

AAC (Advanced Audio Coding)

LDAC^{TM4)}

対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

伝送帯域 (A2DP)

20 Hz ~ 40 000 Hz (LDAC 96 kHzサンプリングかつ990 kbpsで伝送時)

20 Hz ~ 20 000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)

- 1) 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
- 2) BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
- 3) 音声圧縮変換方式のことです。
- 4) LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBLUETOOTH経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。

一般

入力

HDMI入力*

出力

HDMI出力 (TV eARC/ARC) *

S-センター出力

* HDMI入力端子とHDMI出力 (TV eARC/ARC) 端子はHDCP2.2規格とHDCP2.3規格に対応しています。HDCP2.2とHDCP2.3規格は4K画像などのコンテンツ用に新しく強化された著作権保護技術です。

消費電力

On状態のとき：13 W

ネットワークスタンバイ状態のとき（[ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] がオンのとき）：2.8 W以下

スタンバイ状態のとき（[ネットワーク/Bluetoothスタンバイ] がオフのとき）：0.5 W以下*

* [スタンバイスルー] がオフのとき、または [スタンバイスルー] が [自動] でつないでいるテレビの電源がオフのとき

[自動電源オフ] 機能が有効なとき、何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、コントロールボックスは自動的にネットワークスタンバイ状態またはスタンバイ状態になります。

[自動電源オフ] 機能を無効にすると、本機の消費電力が増えます。

最大外形寸法*（約）（幅／高さ／奥行き）

160 mm × 56 mm × 160 mm

* 突起部除く

質量（約）

770 g

ワイヤレストランスミッター／レシーバー部

通信方式

Wireless Sound Specification version 4.0

使用周波数帯域

5 GHz 帯

変調方式

OFDM

ご注意

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 製品に同梱されている「使用上のご注意／仕様・保証書」には上記以外の仕様情報も記載されている場合がありますのでご覧ください。

TP1001053989

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

対応する音声フォーマット

対応している音声フォーマットは、入力によって異なります。次の表で「○」の場合はその音声フォーマットに対応しています。「-」の場合はその音声フォーマットは非対応です。

フォーマット	HDMI入力	TV入力 (eARC)	TV入力 (ARC)
LPCM 2ch	○	○	○
LPCM 5.1ch	○	○	-
LPCM 7.1ch	○	○	-
Dolby Digital	○	○	○
Dolby TrueHD	○	○	-
Dolby Digital Plus	○	○	○
Dolby Atmos	○	○	-
Dolby Atmos - Dolby TrueHD	○	○	-
Dolby Atmos - Dolby Digital Plus	○	○	○
DTS	○	○	○
DTS-ES Discrete 6.1、DTS-ES Matrix 6.1	○	○	○
DTS 96/24	○	○	○
DTS-HD High Resolution Audio	○	○	-
DTS-HD Master Audio	○	○	-
DTS:X	○	○	-
MPEG-2 AAC	○	○	○
MPEG-4 AAC	○	○	○
360 Reality Audio	○	-	-

ご注意

- HDMI入力は、スーパーオーディオCDやDVDオーディオなどのコピープロテクションが含まれる音声フォーマットには対応していません。

TP1001051551

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

対応するHDMI映像フォーマット

本機は次の映像フォーマットに対応しています。

8K 24/25/30/50/60 Hz
4K 24/25/30/50/60/100/120 Hz
1440p 120 Hz
1080p 24/30/50/60/100/120 Hz
1080i 50/60 Hz
720p 24/30/50/60 Hz
576p 50 Hz
480p 60 Hz

【HDMI信号フォーマット】設定について

アプリのリモコン画面で [設定] → [HDMI設定] → [HDMI信号フォーマット] が [拡張フォーマット (4K120, 8K)] に設定されている場合は、本機が対応する全ての映像フォーマットを入力できます。

[HDMI信号フォーマット] が [拡張フォーマット] に設定されている場合は、4K 60 Hz 4:4:4、4:2:2などの映像フォーマットまで制限されます。

[HDMI信号フォーマット] が [標準フォーマット] に設定されている場合は、4K 60 Hz 4:2:0、4K 24 Hzなどの映像フォーマットまで制限されます。

使用するHDMIケーブルについて

認証を受けたHDMIケーブルをお使いください。

テレビとの接続には、付属のHDMIケーブルをお使いください。

48 Gbpsに対応したウルトラハイスピードHDMIケーブルの場合は、本機が対応するすべての映像フォーマットに対応します。

18 Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブル（イーサネット対応）の場合は、4K 60 Hz 4:4:4、4:2:2などの映像フォーマットまで対応します。

3D信号について

次の映像フォーマットは、左右分割方式（サイドバイサイド）の3D信号に対応しています。

- 1080i 50/60 Hz

次の映像フォーマットは、フレームパッキング、上下分割方式（トップアンドボトム）の3D信号に対応しています。

- 1080p 24 Hz
- 720p 50/60 Hz

HDMI接続について

- 本機は「TRILUMINOS（トリルミナス）」に対応しています。
- 本機のHDMI端子は4K 120p、8Kまでの映像信号、HDR（High Dynamic Range）（*1）、VRR（*2）、ALLM（*3）、SBTM（*4）、HDCP2.3（*5）、ITU-R BT.2020規格に準拠した広色域（*6）に対応しています。

ヒント

- ALLM機能により低遅延モードが有効となった場合は、音声の遅延を減らすために一部のサウンド処理が行われなくなります。

*1 HDRは、より広い範囲の（明部と暗部の）輝度を表現できる鮮やかなビデオ規格です。本機はHDR10方式、HLG（Hybrid Log-Gamma）方式、Dolby Vision方式に対応しています。

- *2 VRR (Variable Refresh Rate) は、ゲームなどのフレームレートに合わせて表示側のリフレッシュレートを調整することで、映像のかくつきを抑え、なめらかに表示することができる映像の伝送方式です。
- *3 ALLM (Auto Low Latency Mode) は、ゲームなどの出力に連動して自動で低遅延モードに切り換わる機能です。
- *4 SBTM (Source-Based Tone Mapping) は、テレビの特性に合わせた最適なHDR映像をAV機器側で生成、表示することができる機能です。
- *5 HDCP2.3は、4K映像や8K映像などのコンテンツを保護するための著作権保護技術です。
- *6 BT.2020は、スーパーハイビジョンテレビのために策定された広色域規格です。

TP1001051552

5-049-832-01(3) Copyright 2024 Sony Corporation

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

商標について

LDACおよびLDACロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。

BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

Apple、AirPlay、iPad、iPhone、iPod touchおよびSiriは、米国および他の国/地域で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。

“BRAVIA”（ブラビア）および“BRAVIA Link”（ブラビアリンク）は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access®およびWi-Fi Alliance®は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™、および、WPA3™は、Wi-Fi Allianceの商標です。

“PlayStation”は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。

“TRILUMINOS” および“TRILUMINOS” ロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標です。

SpotifyおよびSpotifyロゴはSpotify ABの登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

TP1001051554

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

ライセンスについて

Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。非公開機密著作物。著作権 2012-2021年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご覧ください。本製品はDTS社からの実施権に基づき製造されています。DTS、DTS:X、およびDTS:Xロゴは、米国および他の国々で登録されたDTS社の登録商標または商標です。
© 2021 DTS, Inc. 著作権所有

「Works with Apple AirPlay」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたテクノロジー専用に対応し、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。

<https://rd1.sony.net/help/ht/sl/23c/>

本製品に含まれるソフトウェアには、GPL/LGPL およびソースコードの提供を伴うその他のライセンス条件のもとでライセンスされたソフトウェアが含まれています。GPL/LGPL 等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限りさせていただきます。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせは御遠慮ください。

Spotifyのソフトウェアには下記のサードパーティライセンスが適用されます。

<https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>。

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

TP1001053988

ご注意

使用上のご注意

- 付属のACアダプターは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- 長時間使用しない場合はコンセントから電源コードを抜いてください。電源コードをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードが傷んだ場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。

取り扱いについて

- もしも水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、ほこりの多いところ、激しい振動のあるところには本機を置かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 本機のスピーカーは、防磁型ではありません。本機の上や近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。
- 本機の周りにテレビ以外の金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような場合は、本機をそれらの機器から離して設置してください。
- 電子レンジや大きなスピーカーなど、強力な磁気を発するものの近くには置かないでください。
- 使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 本機の通風孔をふさぐと、内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。通風孔を絶対にふさがないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。

本機のお手入れのしかた

- 本機は、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH無線技術は、スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。通信有効範囲は障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって変動します。
- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
 - － 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。BLUETOOTH通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH接続を保証するものではありません。
 - － 接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - － 接続する機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

その他のご注意

- 本機をインターネットに接続する場合は、必ず適切なセキュリティ設定を施したルーター (*) を介して接続してください。

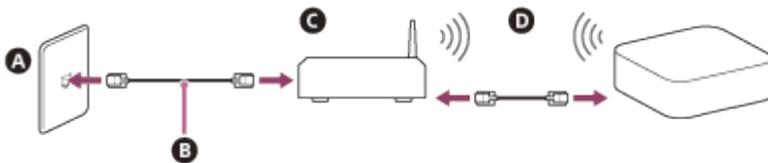
セキュリティの問題が発生すると、製品がインターネットを通じてマルウェア（悪意のあるソフトウェア）等による被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんなどのセキュリティの脅威にさらされてしまうことがあります。それだけにとどまらず、知らないうちにお使いの機器が各種ネットワークサービスに損害を与える側にもなってしまいます。

* ルーターとはインターネット回線とローカルネットワーク回線の中継する機器です。

下記のような種類があります。

- 有線方式のルーター
- ルーター機能付きADSLモデム
- ルーター機能付き光回線終端装置（ONU）
- ルーター機能付きWi-Fiアクセスポイント（無線LANルーター）
- 壁についているネットワーク回線用のコンセント機器 (**)

** 壁についているネットワーク回線用のコンセント機器がルーター機能を有するか不明な場合は、集合住宅の管理者やインターネットプロバイダーなどにご確認ください。



- A** 壁のLAN端子
- B** LANケーブル
- C** ルーター
- D** LANケーブルまたは無線LAN

ご注意

- ルーターの電源がオンになっていることを確認してください。
 - ネットワークの接続と通信設定を確認してください。
 - 無線LANルーターをご利用の場合、使用環境（壁の素材を含む）、電波の状態、本機と無線LANルーター間の障害物などによって、通信距離が短くなることがあります。本機と無線LANルーターを近づけてください。
 - 電子レンジ、BLUETOOTH機器、デジタルコードレス機器などの2.4 GHzの周波数帯域を使う機器は、通信に影響を与えることがあります。それらの機器を遠ざけるか、電源を切ってください。
 - 特に本機のBLUETOOTH機能を使っているときは無線LAN接続が使用環境により不安定になることがあります。無線LAN使用環境の改善をお試しください。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

TP1001053987

ホームシアターシステム
BRAVIA Theatre Quad

サポートページで調べる

本機のご利用上必要なサポート情報です。

<https://www.sony.jp/support/>

サポートページでは、以下のような情報を見ることができます。

- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- 困ったときは（Q&A）（よくある問い合わせ情報）
- 重要なお知らせ（サポートからの重要なお知らせ）
- 接続情報
- 製品登録（製品登録へのご案内）
- 修理のご相談

TP1001053983